WEL 316LN

SAS 521 AD 316LN

主用途：SUS316LN

フラックス系統：ライム・チタニア型	識別色	端面：緑
溶　接　姿　勢：全　　姿　　勢		側面：桃

特徴及び用途

WEL 316LN は高窒素オーステナイト系ステンレス鋼被覆アーク溶接棒で、WEL 316Lに窒素を添加し、耐食性を必要とする構造用強度部材、ケミカルタンカー、パイプ、ポンプなどの溶接に使用されます。
溶接金属中のフェライト含有量をコントロールしているので耐割れ性に優れています。

作　業　注　意

1. 原則として予熱は行わず、パス間温度は150℃以下にして下さい。
2. 溶接棒の再乾燥は200～250℃で1時間くらい行って下さい。

溶着金属の化学成分の一例（%）

	C	Si	Mn	Ni	Cr	Mo	N
AD 316LN	≦0.04	≦0.90	≦2.50	11.0～16.0	17.0～20.0	2.00～3.00	0.08～0.22
製　品	0.025	0.34	1.29	12.11	19.72	2.29	0.11

溶着金属の機械的性質の一例

	引張強さ MPa	0.2%耐力 MPa	伸び %
AD 316LN	≧550	≧315	≧30
製　品	613	473	49 *

＊標点距離を試験片直径の4倍(4D)で測定した伸び値

溶接電流値（AC & DC 棒⊕）

棒径(mm)		2.6	3.2	4.0	5.0
棒長(mm)		300	350	350	350
電流範囲(A)	下向	55～80	70～120	100～150	150～220
	立向上向	50～70	65～105	85～135	—